

## 《予告》

### 令和4年度(2022年度) 東北大学工学部 グローバル入試 I 期の実施内容の変更について

本学の令和4年度(2022年度)入学者選抜において、グローバル入試 I 期の実施内容を大幅に変更します。

詳しくは、「令和4年度(2022年度)入学者選抜要項」(令和3年6月公表予定)をご参照ください。

#### ◎ 選抜方式

##### グローバル入試 I 期 (工学部)

	変更前	変更後
入学の時期	10月入学	4月入学
募集人員	機械知能・航空工学科(国際機械工学コース) グローバル入試 I 期, グローバル入試 II 期及び国際学士コース入試で合わせて15名	機械知能・航空工学科(国際機械工学コース) 若干人
出願資格	日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で, 次のいずれかに該当するもの ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2020年9月30日までに卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2020年9月30日までに修了見込みの者	日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で, 次のいずれかに該当するもの ① 高等学校又は中等教育学校を令和4年3月卒業見込みの者(学校教育施行規則第93条第3項の規定に基づき, 令和3年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者を含む。) ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年4月から令和4年3月までに修了又は修了見込みの者
出願要件	次の1), 2)のすべての要件を満たすこととします。 1) 令和2年度(2020年度)大学入試センター試験において, 表1に指定する教科・科目を受験した者 あるいは国際バカロレアにおいて, 表2に指定する教科・科目の単位を取得し, 国際バカロレア資格を有する者 2) TOEFL iBT, TOEFL PBT(団体受験用のTOEFL ITPは不可), TOEIC(団体受験用のTOEIC IPIは不可), IELTS(アカデミック・	次のすべての要件を満たすこととします。 ① 調査書の学習成績概評がA段階に属する者 ② 外部英語検定スコアがCEFR: B2レベル以上の者 (参考: 英検 準1級, GTEC CBT 1, 190点以上 など) ③ 本学工学部での勉学を強く希望し, 合格した場合には必ず入学することを確約できる者

出願要件	モジュール)のうちいずれかの試験を受験し、スコアを提出すること。また、得点がTOEFL iBTは79点以上、TOEFL PBTは550点以上、TOEICは785点以上、IELTSは6.0点以上であること。	
出願基準	<p>① 本学の教育理念に照らし、人物的に優れていること。</p> <p>② 本学の教育目標を高い水準で達成できる十分な学力を有すること。</p> <p>③ 学業成績が優秀であり、多様な国籍を持つ学生と英語で共修することにより、工学学理を基に人類社会の発展に資する知識・技術基盤を創成できる者</p> <p>以上の点で、学校長から高い評価を得ている者</p>	<p>① 本学の教育理念に照らし、人物的に優れていること。</p> <p>② 本学の教育目標を高い水準で達成できる十分な学力を有すること。</p> <p>③ 国内の地域社会からグローバル社会にわたる科学技術や産業への関心を強く持ち、論理的思考能力と英語能力を有する者以上の点で、学校長から高い評価を得ている者</p>
選抜方法	<p>出願書類の内容、大学入試センター試験（あるいは国際バカロレア資格取得時）の成績、TOEFL等の成績、筆記試験及び面接試験の成績を総合的に評価して合格者を決定します。</p> <p>すべての志願者を対象に、出願書類の内容、大学入試センター試験（あるいは国際バカロレア資格取得時）の成績及びTOEFL等の成績により第1次選考を行います。第1次選考合格者にのみ第2次選考として筆記試験及び面接試験を行います。筆記試験は日本語で実施しますが、英語で受験を希望する場合は、事前に本学に申し出てください。面接試験は英語で実施します。</p>	<p>すべての志願者を対象に、出願書類の内容の審査及び筆記試験により第1次選考を行います。第1次選考合格者にのみ第2次選考として面接試験を行います。その結果と、第1次選考で実施した出願書類及び筆記試験の結果を総合して合格者を決定します。</p> <p>筆記試験は日本語で、面接試験は英語でそれぞれ実施します。</p>
出願受付	1月	10月
試験実施	2月	11月（AO入試Ⅱ期と同時期）
入学後の履修	英語による授業を行います。	<p>1年次の1セメスターは、一般選抜入学試験などで合格した学生と同様のカリキュラムを履修。</p> <p>1年次の2セメスターから、英語による履修（一部日本語）。</p>

令和 2 年 5 月 2 2 日

東 北 大 学